

## 着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事  
MITSUBISHI CORPORATION  
Deputy Chief Regional Officer Asia & Oceania  
西田 知之



シンガポール日本商工会議所の皆様、今般理事を務めさせて頂く三菱商事の西田と申します。弊社ではアジア大洋州地域を統括するChief Regional Officerが新設され、同CROの補佐として3月に着任致しました。同月、シンガポール日本人会の総会にて、会長に推挙頂き就任致しましたので併せてご報告申し上げます。皆様のお役に立てる様、精一杯努力しますので、ご指導の程何卒宜しくお願い致します。

三菱商事のシンガポールでの活動の歴史は、1917年の三菱合資会社による事務所設置にまで遡り、第二次世界大戦により一時閉鎖となりましたが、新三菱商事が発足した翌年、1955年11月にシンガポール支店の登記が行われ、本格的に再開されました。近年まで支店内にあった各営業部門は、複数の事業会社に分かれて事業経営をしており、現在の支店は①新規事業開発、②アジア大洋州40拠点へのコーポレート機能サポートを主に行っております。ここに、地域軸での事業経営・事業開発の強化を目指し、前述の通りCROが新設されました。

私自身の経歴は、1994年に入社、食品の海外事業・国内代理店事業を行った後、2000年にフィリピンでコンビニエンスストア事業を立ち上げ、その責任者としてマニラに駐在致しました。0→1で事業を創造する困難さを大いに味わいましたが、現地パートナーであった最大手財閥創業者から先進的な経営を学び、また、今にも繋がるアジアの人脈も頂き、とても貴重な経験でした。

2005年に本社に戻り、スーパーマーケットや外食、専門店、コンビニエンスストア等の事業に携わり、100社近くの社長様にご提案をしに飛び回っておりました。名経営者から様々な薫陶を頂き、とても勉強になりました。特に弊社が出資する日本最大のスーパーマーケットのライフコーポレーションさん(ライフ)の創業者故清水信次さんからは、大局観、人を巻き込む力を学ばせて頂きました。

2009年に100円ショップの世界最大手であられる大創産業さん(ダイソー)に出向し、海外事業展開

加速、経営改革に共に取り組ませて頂きました。年間地球10周ほど周る生活を5年程続けました。先般ご逝去された創業者の矢野博丈さんからは、謙虚さ、周囲に感謝していく事の大事さ等、人として大事なことを教えて頂きました。

2015年には当地でも即席めで圧倒的なシェアを誇る日清食品ホールディングさんに出向し、安藤宏基CEOの特別業務秘書を1年務めました。安藤CEOのみなぎる情熱と探求心に感嘆し、そしてブランドの重要性を学ばせて頂きました。

2016年より再び海外駐在で、インドネシア日清食品の社長を3年務めた後、弊社のインドネシア生活産業関連事業20社を統括する事業会社の社長を4年半やりました。ここでも多くの経営者に巡り会えました。特に弊社が出資しているアルファマートの創業者ジョコ・スサント氏は凄い方でした。今や2万店舗を超え、インドネシア最大の小売業にまで成長させたバイタリティ、仕事のスピード、チャーミングな人柄は、この人をしてこの成功ありと感じました。また、ゴジェックに出資する機会があり、私よりも10歳以上も若い、当時30代の創業メンバーの方々とも仕事をしましたが、自国や周辺国をもっと便利にしたいとする純粋なほとばしる情熱、一方でGoogleやマイクロソフト等他株主から貪欲にテクノロジーと経営手法を取り入れるスピード感に、大いに刺激を受けました。

2023年には本社で小売事業を統括する本部長に就任、ローソンやライフと言ったりアルの既存小売事業と、通信・金融等の異業種との掛け算にチャレンジし、異業種の方々からたくさん勉強させて頂きました。

多くの尊敬できる素晴らしい方々との出会いが私の財産です。そして、JCCIでの素晴らしい皆様方との出会いが楽しみです。皆様からも日本の経営の強みを学ばせて頂き、それを活かしてシンガポールに貢献すること、そうした活動を通じてJCCIの発展に微力ながら寄与できれば幸いです。

今後何卒宜しくお願い致します。